

民生常任委員会

委員長 松井 岑 雄

【一般会計】

問 緊急時等における民生委員、自治会、自主防災組織、消防団等との連携について、組織的な活動が可能となるよう配慮をお願いしたい。

答 民生委員児童委員協議会では、平成31年3月末に町内全地区の要支援者マップを作成し、緊急時にはこれを活用することとなっており、今後は、組織的な連携について協議を進めて行くこととしている。

問 近年では、個人的な考えから予防接種を受けない人もいるようだが、周囲への感染を防ぐためにも、更なる啓発活動を行うってもらいたい。

答 保健師による訪問等の際にも、予防接種の必要性や目的を十分に説明しているが、今後においても更なる周知を図り、一層の接種勧奨に努めたい。

【国民健康保険事業特別会計】

問 キャッシュレス決済が浸透しつつあるが、納税者には特典もある電子マネーでの納税を検討しているか。

答 田布施町が、今年の1月からコンビニ収納に合わせて実施しており、その状況も参考にしながら研究してまいりたい。

問 滞納者に対する、差し押さえの禁止事項は確認しているのか。

答 預金等は、2,3カ月の取引状況を調査し、生活が困窮しないよう配慮している。

【後期高齢者医療事業特別会計】

問 本町の一人当たりの医療費は県内で何位か。

答 平成30年度の一人当たりの医療費は967,784円で、県内19市町のうち12位であった。

【介護保険事業特別会計】

問 キャラバンメイトの活動と

は、どのようなものか。

答 これは、一定の研修を受けた住民ボランティアで、認知症サポーター養成講座の講師として、地域での普及啓発活動を行うことになる。

【病院事業局企業会計】

問 外来患者数の減少傾向が止まらない理由は何か。

答 一番の要因は人口減少であり、大島病院は透析の集約化により保たれているが、東和病院での減少が大きくなった。

橘病院については複数科目を掲げているものの、なかなか難しい状況にある。

問 やすらぎ苑は、約8千万円の赤字を計上しているが、今後このような傾向が続くのか。

答 給与費が増加する分、赤字額も増加する可能性がある。

問 町内に在住する職員の割合はどのような状況か。

答 今年の8月末現在で、正規職員は352名のうち219名(62%)、非正規職員は113名のうち81名

(72%)が町内に在住している。

問 8月5日に行われた医師会との意見交換の内容は、勤務医に伝えてあるのか。

答 必要性は感じつつも、伝えることができていないため、医局会議等を開催し、その内容に触れていきたいと考えている。



健康福祉部福祉課の審査